

第64号 2024. 8. 20

発行 日本歯科技工士連盟
東京都新宿区市谷左内町 21-5
歯科技工士会館内
発行人 蓑輪雅宏
編集 日本歯科技工士連盟

ねんめい
日本歯科技工士連盟機関紙

日本歯科技工士連盟

LINE 公式アカウント

日技連盟は政治活動の見える化を推進しています。LINE公式アカウントへの友だち登録をお願いします。

ID▶@570kynvl



奥村英世会長が再選果たす

監事には三島良之氏、中村守勝氏 —— 2024年度評議員会

日本歯科技工士連盟（会長・奥村英世）は、去る6月16日（日）、歯科技工士会館において2024年度評議員会を開催した。はじめに狩野真澄副議長が氏名点呼を行い、評議員定数59名に対し58名の出席を確認。これを受け白井政博議長が、日本歯科技工士連盟規約第26条に基づき2024年度評議員会の開会を宣言した。

議事録署名人の選出は議長一任となり、内山昌夫評議員（千葉）と橘勝一評議員（和歌山）が指名され、両評議員受諾後、奥村英世会長の挨拶に移った。また、来賓としてご出席いただいた、歯科技工士に関する制度推進議員連盟事務局次長である石川昭政デジタル副大臣よりご挨拶をいただいた。

その後、議長が議事に入る旨を議場に告げ、第1号議案および第2号議案が一括で上程された。

はじめに時見高志理事長が「第1号議案・2023年度活動一般報告の承認を求める件」を上程し、「2023年度の本連盟活動は公益日技との連携を図り、歯科技工士の地位向上と歯科技工業界の環境改善に向け、関係団体及び関係省庁との折衝を重ねるとともに、歯科技工士に関する制度推進議員連盟に対して有効な施策の実現を求め、更なる飛躍が期待されるに至った」と総括し、特にその成果として、2023年12月11日に厚生労働省医政局より発せられた課長通知により、全国の歯科技工所に管理番号が付せられるとともに、各都道府県等のホームページに掲載されることとなった旨の報告があった。また、2023年度の活動方針を示した「歯科技工経済」「歯科技工の業務委託に関する法整備」「歯科技工士の業務拡大」「歯科技工士教育」の各項目に関して行われた主な渉外活動を説明した。

次に西澤隆廣副会長が「第2号議案・2023年度会計収支決算の承認を求める件」を上程し、資料を基に説明を行った。また監査報告として中村守勝監



事より、2023年度の会計収支決算書については伝票証憑類その他これに関する帳簿等により、役員の実務執行については2023年度活動報告書及びこれに関連する書類により監査した結果、本連盟の会計は正確かつ適正に処理されており、会務は適正妥当に執行されたものであることを認める旨の報告が行われた。あわせて三島良之監事より詳細にわたり監事所見が示された。

その後、質疑応答を経て採決を行った結果、第1号議案、第2号議案とも賛成多数により承認された。

引き続き青木彰副会長より「第3号議案・役員選挙規程一部改正の件」が上程され、資料を基に説明が行われた。採決を行った結果、賛成多数により承認された。次いで時見理事長より「第4号議案・第27回参議院議員通常選挙比例代表選出議員候補予定者推薦決定の件」が上程され、比嘉奈津美議員を推薦することについて説明が行われた。質疑応答を経て採決を行った結果、賛成多数により承認された。その後、比嘉議員より寄せられたビデオメッセージ

が放映された。

続いて報告事項として、報告事項を取りまとめたビデオ放映後、奥村会長より「時局・渉外について」、時見理事長より「2024年度活動方針について」、西澤副会長より「2024年度予算について」、蓑輪雅宏副理事長より「日本歯科技工士連盟入会案内について」、土肥学常任理事より「日本歯科技工士連盟公式LINEについて」の各報告があり、関連する質疑応答が行われた。

その後、議長が執行部に「第5号議案・任期満了に伴う役員選挙の件」の上程を求め、佐藤幸司副会長より、現執行部の任期が2024年6月16日までであり、日本歯科技工士連盟規約及び役員選挙規程により、選挙管理委員会の選挙公示のとおり会長及び監事の選任をお願いする旨の提案がなされた。

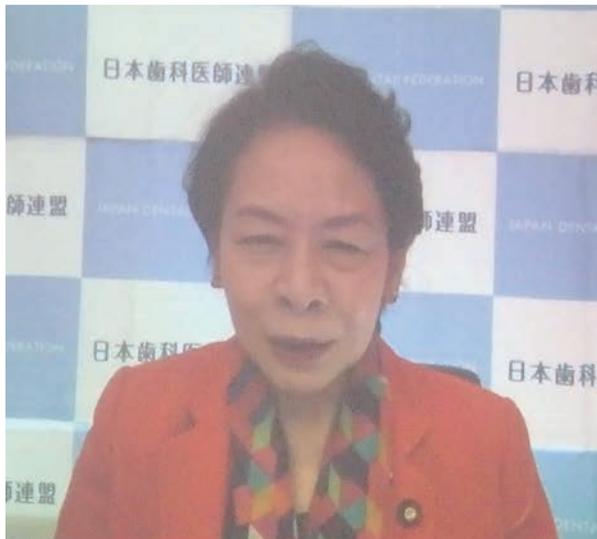
引き続き役員選挙管理委員会の中山友克委員長（埼玉）より、役員選挙管理委員会設置以降の経過報告が行われるとともに、会長選挙、監事選挙ともに立候補者が定数内であったため、役員選挙規程第13条により会長に奥村英世候補、監事に中村守勝候補、三島良之候補を当選者と決定できる旨の報告があった。これを受け議長が採決を行った結果、いずれも当選が承認され、中山委員長より当選証書が授与された。

奥村会長は決意表明として「歯科技工士のため、歯科技工界のため、そしてこれから歯科技工士になる方々のために何を残さなくてはいけないか、これを念頭に経済問題の解決に精いっぱい努力したい」と述べ、評議員に対し協力を要請した。中村、三島両監事からも決意表明が述べられた。

最後に奥村会長より執行部を代表して退任挨拶、また議長より議事進行への協力御礼があり、全日程が終了した。



挨拶される石川昭政副大臣



比嘉奈津美議員によるビデオメッセージ

質疑応答要旨

質問① 若い人が歯科技工士を目指さない一番の原因は教育問題ではないかと考える。高校卒業後、専門学校に2年間通って資格を取るだけで、果たして何ができるのか。経済基盤の確立もできていない。だから子供たちが目を向けないのではないか。子供たちはこちらが考える以上にシビアにこの業界を見ている。教育を充実させて成熟した歯科技工士を世に出さなければ、他の課題解決にもつながらない。教育問題を最重要課題として取り組むべきと考えるが、会長のお考えをお聞きしたい。【兵庫：宅見評議員】

回答① 現執行部も教育問題は重要な課題であると認識しており、日技本会とも意見交換を行ってきた。現在、修業年限の延長については「歯科技工士の養成・確保に関する検討会」において、歯科技工士の職域拡大やタスクシェア、デジタル歯科技工の進展等の問題と関連づけて有識者により議論されているの

で、我々としてはそれを見守っている状況である。
【奥村会長】

質問② 比嘉奈津美議員を推薦するに至った理由をお聞かせいただきたい。【岩手：河内評議員】

回答② 比嘉奈津美先生はもともと歯科医師であり、沖縄県の副会長をされていたときに2012年12月の第46回衆議院議員総選挙に臨み初当選。2014年12月14日の第47回衆議院議員総選挙に立候補、小選挙区では敗れるも重複立候補していた比例九州ブロックで比例復活となり、再選を果たされた。その後、2017年10月22日の第48回衆議院議員総選挙では敗れ、比例復活もならず落選。惜敗率0.017%の差で宮崎政久氏に次点を譲る形となった。

2019年7月の第25回参議院議員通常選挙で、自民党は比例代表に特定枠2人を含め計33人の候補者を擁立し19議席を獲得。比嘉先生は日本歯科医師連盟の支援を受けるも、18番目の得票数（特定枠を含むと20番目）により、次点で落選した。2021年10

月、比例区選出の北村経夫参議院議員が参議院山口県選挙区補欠選挙への立候補により退職（自動失職）したことに伴い、同月20日の選挙会で繰り上げ当選が決定し現在に至っている。

来年の第27回の参議院議員通常選挙に関して、日本歯科医師連盟からも比嘉先生をご推薦いただいたとお話があり、我々の中で検討した結果、歯科界全体として比嘉先生を推薦していこうと決定した次第である。

前回は山田 宏議員を推薦させていただいた。その前は日本歯科医師連盟が候補者を推薦しなかったため、我々は看護連盟の石田まさひろ先生を推薦させていただき皆さんにご協力いただいた。

石田先生も今回、改選であり、歯科技工士に関して非常に深いご理解とご認識をお持ちだが、先ほど申し上げた経緯から、今回は比嘉先生を推薦させていただきたいという旨のご相談を石田先生にさせていただいたところ、石田先生からも、そういうことなら議員として十分理解できるから気にしなくていい、歯科技工士に関してはこれからも引き続き協力していくとお話をいただいた。

こうした経緯であるので、ご理解いただきたい。
【時見理事長】

質問③ 地方創生臨時交付金における「電気・ガス・食料品等価格高騰重点支援地方交付金」について、地域によって歯科技工所の取り扱いへの対応にばらつきがあるとのことだが、大阪府内でも市によって対応が異なる。

そこで、大阪府歯科医師会や大阪市歯科医師会の会長に相談をしたところ、大阪独自で動くのではなく、日本歯科医師連盟と日本歯科技工士連盟から通達を出し、トップダウンの形で行えば全国で統一の対応ができるのではないかと意見をいただいたので、そのような対応をお願いしたい。【大阪：小谷評議員】

回答③ 中央組織の行政判断、行政行動が地方自治体にきちんと浸透していかないことは地方分権の弊害と言えるかもしれないが、我々としては自治体ごとに対応の差が生じないように、これまで何度も厚生労働省や議員連盟の先生方に改善を要望してきた。

今後も引き続き渉外活動を行っていく所存であるので、地域組織においてもご理解とご協力をお願いしたい。【奥村会長】

質問④ 2024年度活動方針に「今後も議連を通じ、歯科技工士の処遇改善に資するために必要な法律や制度の構築を求めていきたい」とある。この処遇改善の意味を具体的に教えていただきたい。【長崎：福井評議員】

回答④ ひとつは、本日の報告事項で話があったように、国家公務員の俸給表の改定がある。現在、国家公務員の歯科技工士は全国に4名しかおらず、この方々は大卒ではないが、大卒の歯科技工士の俸給を上げることが、いずれは公立病院の勤務者、診療所の勤務者、そして外部で受託関係にある歯科技工士の賃金の上昇につながる。そうした考えの下、前回は俸給表の改定を行っていただいた。

処遇改善については、この他にも戦略的に考えていることがあるが、もう少し具体的にになった時点で改めて説明させていただきたい。【時見理事長】

2023年度 一般会計収支決算書

(自:2023年1月1日 至:2023年12月31日)

収入の部					
政治資金収支報告書による収入科目	科目	予算額	決算額	差異	備考
1. 個人の負担する党費又は会費	資格者会員会費	26,766,000	25,563,200	1,202,800	
2. 寄附					
(1) 個人からの寄附		-	0	0	
(2) 法人その他の団体からの寄附		-	0	0	
(3) 政治団体からの寄附		-	0	0	
3. 機関紙誌等の発行その他の事業による収入					
4. 借入金					
5. その他の収入	雑収入	200,000	5,134	194,866	政党支援活動旅費弁償購入等
6. 前年度繰越金		17,000,000	17,407,851	▲407,851	
合計		43,966,000	42,976,185	989,815	

支出の部					
政治資金収支報告書による支出科目	科目	予算額	決算額	差異	備考
1. 経常経費	(1) 人件費				
	給料	2,700,000	2,700,000	0	職員給与等
	役員報酬	6,180,000	6,180,000	0	役員報酬
	(2) 光熱水費	60,000	60,000	0	光熱費
	(3) 備品・消耗品費	20,000	4,238	15,762	文具費等
	(4) 事務所費				
	通信費	250,000	194,675	55,325	役員通信費、郵送料等
	事務委託費	3,770,000	2,114,549	1,655,451	会費管理及び会費収受業務等
	賃借料	900,000	900,000	0	事務室借用料
	④小計	13,880,000	12,153,462	1,726,538	
2. 政治活動費	(1) 組織活動費				
	交通費	200,000	215,320	▲15,320	近距離交通費
	役員出張費	2,000,000	1,645,180	354,820	遠距離交通費等
	印刷費	250,000	134,440	115,560	文書封筒等印刷費
	会議費	5,500,000	4,856,937	643,063	評議員会、総務会等
	組織対策費	1,300,000	1,026,090	273,910	議員連盟関係費を含む諸活動費
	交際費	450,000	562,100	▲112,100	中元・歳暮品代等
	渉外費	4,500,000	4,790,000	▲290,000	会費、対外渉外費
	①小計	14,200,000	13,230,067	969,933	
	(2) 選挙関係費				
	交通費	50,000	0	50,000	
	役員出張費	200,000	0	200,000	
	印刷費	30,000	10,010	19,990	
	会議費	30,000	0	30,000	
	通信費	30,000	1,281	28,719	
	陣中見舞	300,000	150,000	150,000	
	②小計	640,000	161,291	478,709	
	(3) 機関紙誌の発行その他の事業費 ア.機関紙誌の発行事業費 イ.宣伝事業費 ウ.その他の事業費				
	広報費	1,800,000	791,421	1,008,579	機関紙「れんめい」作成関係費等
	(4) 調査研究費	150,000	146,604	3,396	資料、書籍購入費等
	(5) 寄附・交付金				
	寄附金	2,000,000	50,000	1,950,000	寄附等
	交付金	3,100,000	494,000	2,606,000	地元活動費等
	(6) その他の経費				
	時局対策積立金	0	0	0	当年度積立
	雑費	100,000	54,890	45,110	諸雑費
	予備費	8,096,000	0	8,096,000	
	③小計	15,246,000	1,536,915	13,709,085	
	⑤小計				
	次年度繰越金		15,894,450	▲15,894,450	
合計	小計 ①+②+③+④+⑤	43,966,000	42,976,185	989,815	

2024年度評議員会 会長挨拶

日本歯科技工士連盟 会長 奥村英世



2024年度日本歯科技工士連盟評議員会を開催するにあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

日本歯科技工士連盟会長を拝命し、瞬く間に2年3カ月が経ちました。この間、皆さまの多大なご支援により前進を果たすことができました。開会前には昨年同様、日本歯科技工士連盟の政治活動の一部をご視聴いただきました。この中から成果の一部をお伝えしたいと思います。

まず歯科技工士は業務独占資格であり、日本標準職業分類どおりの医療技術者であり、歯科技工所は日本標準産業分類どおりの医療業、医療に附帯するサービス業であります。歯科技工業が製造業か否かの議論は、この先、一切必要はありません。これにより物価高騰対策支援金、地方創生臨時交付金は地域格差、支給額の差はあったものの、多くの歯科技工所が支給対象になりました。

次に昨年11月21日の歯科技工士に関する制度推進議員連盟の第18回総会では過去に例をみない白熱した議論が展開され、お示した6つの

政策要望について、関係行政から善処するとの前向きな回答が得られました。

さらに12月14日には上川陽子会長率いる「歯科技工士に関する制度推進議員連盟」の橋本 岳幹事長、福岡資麿筆頭幹事、松本洋平事務局長、森野会長とともに武見敬三厚生労働大臣へ要望書を手渡したことで、間もなく、歯科技工所の識別のための公的番号の付与に関する大きな前進を果たすことができました。詳細は、この後の報告事項でお伝えしたいと思います。

昨年度立ち上げた日技連盟LINE公式アカウントへの登録状況は現在339名です。政治運動の見える化は必須であり、会員数は連盟活動にとり必要不可欠です。お手元の刷新した入会案内リーフレットを活用いただき、入会促進およびご登録をお願いしたいと思います。

歯科技工士を取り巻く多様な懸案事項を解決することは、日本の歯科医療崩壊を防ぎ、国民への安全安心な歯科医療の提供を保障するための国家的な重要課題です。2022年に続いて経済財政運営と改革の基本方針2023、いわゆる「骨太の方針」に歯科技工士、歯科技工業に関する内容が明記されました。歯科技工士の養成と確保と歯科技工士の労働環境を一体的に扱ってもらう必要があります。今が好機であり、この時を無駄にしてはなりません。日本歯科医師連盟をはじめとする関係団体との関係は順調であり協力意識は強化され、歯科界の一致団結は強力な推進力になっています。

本日は重要な審議案件が5件ございます。皆さまの慎重審議と本連盟への引き続きのご理解、ご協力をお願い申し上げ、甚だ簡単ではございますが挨拶といたします。本日はどうぞよろしくお願い申し上げます。

日本歯科技工士連盟 新執行部の顔ぶれ

(任期：2024年6月16日の定時評議員会終結の時から2026年6月定時評議員会終結の時まで)



会長
奥村 英世 (愛知)



副会長
青木 彰 (神奈川)



副会長
渡輪 雅宏 (北海道)



副会長
加藤 正 (愛知)



理事長
時見 高志 (大阪)



副理事長
小川 博和 (京都)



副理事長
原田 昭博 (神奈川)



副理事長
狩野 眞澄 (東京)



常任理事
土肥 学 (長崎)



常任理事
舟橋 文子 (広島)



常任理事
大西 尚之 (新潟)



常任理事
妹島 利行 (東京)



常任理事
瀬谷 公子 (茨城)



監事
中村 守勝 (神奈川)



監事
三島 良之 (熊本)

比嘉奈津美先生に推薦状を手渡し！

6月16日（日）開催の2024年度評議員会において、第27回参議院議員通常選挙比例代表選出議員日技連盟推薦候補予定者に選出された比嘉奈津美先生に、8月1日（木）、本連盟・奥村会長、時見理事長が参議院議員会館を訪れ、推薦状を手渡した。

奥村会長からは、酷暑の中、後援会活動として各地でデンタルミーティングを開催されているが、お体には十分お気をつけて、来るべき日にお祝いできるよう頑張ってもらいたい旨が述べられた。

また、奥村会長、時見理事長から、歯科技工士からの視点にもご理解をいただき、歯科技工士に関する政策にも協力いただきたい。後日、政策合意に関してお話しする機会も設けていただきたい。歯科医療の一翼を担う我々の意見もお聞き願いたいと要望した。比嘉先生からは、三歯会一体となって国民の歯科医療推進のため努力していくよう政策を進めていきたいとの言葉があった。



比嘉奈津美先生 プロフィール

- 昭和 33 年 10 月 沖縄県沖縄市生まれ
- 昭和 61 年 3 月 福岡歯科大学卒業
- 昭和 61 年 4 月 沖縄県久米島具志川歯科医院勤務
- 昭和 63 年 6 月 なつみ歯科医院開院
- 平成 21 年 4 月 沖縄県歯科医師会副会長
沖縄歯科衛生士学校副校長
- 平成 22 年 2 月 沖縄県歯科医師連盟理事長
- 平成 24 年 12 月 衆議院議員初当選
- 平成 26 年 12 月 衆議院議員 2 期目当選
- 平成 28 年 8 月 環境大臣政務官
- 令和 元年 8 月 日本歯科医師連盟顧問
- 令和 3 年 10 月 参議院議員 1 期目繰り上げ当選
- 令和 5 年 4 月 福岡歯科大学客員教授

現在

【参議院】

- ・厚生労働委員長
- ・消費者問題に関する特別委員会委員

【自民党】

- ・女性局次長
- ・沖縄振興調査会事務局次長 他

年金を增量、税金はダイエット。



全国国民年金基金

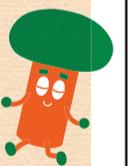
65歳から一生涯 もらえる年金を上乗せ。



受給年齢制限のある個人年金とは違い、65歳から一生涯年金を受け取れる*ので、高齢になってからのお金の心配が減らせます。

*A型・B型の場合

全額控除対象なので 税金がおトクに。



国民年金基金は公的な個人年金であるため、掛金全額を社会保険料控除として控除できます。そのため、所得税と住民税の軽減につながります。

資料希望・加入希望者を紹介いただける方はこちらへ
— ご加入者と紹介者にクオカードを差し上げます —

日本歯科技工士会 国民年金基金担当

TEL：03-3267-8681

FAX：03-3267-8650

e-mail：nichigi@info.email.ne.jp